



福島県立

たむら支援学校だより vol.25

小・中学部 2学期 始業式

8月26日(月)、2学期の始業式を行いました。

小・中学部それぞれの代表が、「夏休みの思い出」と「2学期にがんばりたいこと」を発表しました。2学期もいろいろなことにチャレンジしてがんばりましょう。



小学部 アートで広げる子供の未来プロジェクト

8月27日(火)、小学部1年生が、東京家政大学の小室明久先生を講師に制作活動を行いました。

絵の具を手や足につけて、大きな模造紙や自分たちの着ているTシャツに思い思いに色を塗り、すてきなアート作品が完成しました。



高等部 陸上部 競技場での部活動

8月27日(火)、29日(木)、陸上部が田村市総合運動公園陸上競技場で練習をしました。

10月12日に特別支援学校スポーツ大会を控えており、正式な競技場での練習を積み、大会で実力を発揮できるようがんばっています。



高等部 卒業生による進路講話

9月2日(月)、小野町のジャパンビューティープロダクツ勤務の第2期卒業生の講話がありました。生徒からの質問に答える形で行いました。先輩の活躍ぶりに興味津々で、真剣に話を聞き、大いに刺激を受けました。



中学部 カルテッド ソレイユ コンサート

9月2日(月)、愛知・岐阜の音楽家カルテッド・ソレイユの方々をお招きしミニコンサートを行いました。生徒たちは、興味津々でプロの演奏に聴き入ったり、楽しさを表現したり貴重な体験となりました。



教職員 文珠地区ソフトボール大会

8月25日(日)、今年も地域のソフトボール大会に教職員有志チームが参加しました。地域の皆様方と教職員とが交流を図り、本校を知っていただく大切な機会となっています。これからも続けていきたいです。



編集後記

2学期がスタートしました。2学期は、遠足、修学旅行、ゆめここ祭、現場実習など多くの行事があります。これらの行事での体験を含め、教育活動を充実させ、子ども達にとって実りの多い2学期にできるよう、教職員一丸となり努めて参ります。保護者、地域の皆様方の引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

福島県立たむら支援学校



【春山校舎】Tel...0247-82-4114 Fax...0247-82-4119
【石崎校舎】Tel...0247-82-4627 Fax...0247-82-4629
HP...<https://tamura-sh.fcs.ed.jp> mail...tamura-sh@fcs.ed.jp



地域おこし協力隊奮闘記



フライングディスクも変幻自在な存在で、場所、時期、形が変わることである。いろいろな遊び方ができます。9月末にグリーンパーク都路で開催された親子ディスクゴルフ体験教室では、幅広い年代の方が、夢中でディスクゴルフを楽しんでいました。

地に足をついた草花とフライングディスクという飛び道具を活用して、グリーンパーク都路が人々をつなげていくきっかけの場所の一つとなるよう、地道に活動に取り組めます。

こんにちは、昨年の5月に家族三人で移住してきました地域おこし協力隊の緑川です。

最近、私が興味を持っているものは、草花とフライングディスクです。グリーンパーク都路を中心とした協力隊活動を通して、毎日何気なく目にしていた草花が、生えている場所や時期、形によって邪魔者になったり大きな価値を持つようになったりと、「変幻自在な存在だな」と気づいた時から、目を離せない存在になりました。また、草花が人々をつなげるきっかけとなる瞬間を体験し、大きな可能性も感じています。

都路の変幻自在な存在



海を越えて 英語指導助手 ペンリレー No. 136

何に感謝していますか



ジェシー・ケイド
アメリカ合衆国・テキサス州出身
(田村市に来て5年目)

アメリカで今年の「感謝祭」は11月28日です。「感謝祭」は家族が集まり、おいしい物を食べて、楽しいスポーツをして、交流を楽しむ素晴らしい祝日です。また、多くのアメリカ人にとって自分が何に感謝しているかを思い出す日でもあります。

私は今、日本にいますが、最も感謝することのリストがあります。1番目は、家族に感謝します。毎週、家族に電話し、とても愛しています。2番目は、涼しくなった気候に感謝します。私は夏が苦手なので、野外が寒くなってきたら最も快適に感じます。3番目に、自分の自転車に感謝します。YouTubeに毎週、動画をアップロードしようとしているので、そのことが田村市や福島県の新しい地域を探索するモチベーションになっています。



涼しくなった気候や自転車よりもはるかに感謝していることは、船引中学校の生徒たちです。私は船中の生徒たちが大好きで、全員を誇りに思っています。

最近、合唱部と吹奏楽部の大会の演奏を聴きましたが、生徒たちの才能の素晴らしさを改めて感じました。生徒たちは英語を教えることの楽しさを実感させてくれたり、船引で生活することも祝福してくれるので、生徒たち全員に感謝しています。

「感謝祭」はアメリカの祝日ですが、感謝していることや人について考えるのは、誰にとっても良い習慣だと思います。ニュースを見ると、悲しくなったりがっかりしたりしてしまいがちです。だから、いろいろなことを思い出すこと、そしてもっと大事なものは人生を生きる価値あるものにしてくれる人々を思い出すことが大切だと思います。今年の「感謝祭」には、自分自身にこう問いかけてみてください。「自分は何に感謝しているだろうか?」と。